

私たちは、岡山県北で元気を創造している人を応援しています。

奈義町現代美術館
館長 岸本 和明

×

インタビュアー【シリウスグループ】
イコール株式会社 代表 池田 誠



奇跡の湯 奥津温泉ホテル

米屋倶楽部 奥津

TEL:0868-52-0016 <http://www.komeyaclub-okutsu.jp>



先駆けを目指して

どのようなお子さんでしたか？

どちらかというとおとなしい方だったと思います。おとなしいといっても、体を動かすのは好きでしたし、田舎ですから、木に登って虫を捕まえたりはしていましたよ。当時としては珍しかったと思いますが、ピアノも習っていましたね。今となって役に立つ事も多いので、習っていて良かったと思います。

ご両親からの教訓があれば教えてください。

目上の人に対する言葉使いや立ち振る舞い、挨拶には厳しかったです。あと、父が無類の読書好きで、私にも「できるだけ多くの本を読みなさい」と言っていました。言われたから読んだというよりは、父の姿を見ていたので、本を読む事は生活の

一部になりました。今でも年間100冊以上は読んでいます。

いつ頃から芸術に興味を持ち始めましたか？

昔から絵を描く事は好きでした。この道というかアートの世界へ行けたら・・・と思ったのは忘れもしない、私が小学2年生の時に家族で行った大阪万博がきっかけです。照り返しが激しくむっとした暑い日でした。コンクリートや埃、行き交う人々の匂いなど全部覚えて使わなかったけど、こっぴつ世界に行けたら、という漠然とした想いはあれからずっとあります。万博の時、お祭り広場を設計したのは建築家の磯崎新さんだったんですが、その磯崎さんがプロデューサーした「奈義町現代美術館」に今、自分がいるというのは不思議な感じがしますね。

影響を受けた人物について教えてください。

大学は、玉川大学の芸術学科を専攻していました。私はこの玉川大学(学園)創立者である小原國芳先生から絶大な影響を受けました。先生は私が大学に入った時には既に他界されていたんですが、生前かかわりのあった方から直接話を聞いたり、先生の著書を読んだりし、世の中にこんなに視野の広い人がいるんだと深い感銘を受けました。「全人教育」を提唱した事で知られていますが、

子どもの頃に行った大阪万博。
あれが自分の道を決めた気がします。



イコール株式会社 代表 池田 健

プロフィール
勝山高校卒業後、大阪の旅行社へ就職。
数年後旅行社創業。…現在に至る。
奥津温泉や湯原温泉を中心に、ホテル旅館業、旅行業、旅館の再生事業をしている。

奈義町現代美術館

館長 岸本 和明

プロフィール
昭和38年3月20日生まれ。勝央町出身。玉川大学 文学部芸術学科卒業後、勝央町郷土美術館、広島市現代美術館勤務を経て、1992年に奈義町現代美術館の開設準備室学芸員に。2011年に副館長、2014年に館長に就任され現在に至る。

な大学の有志が集まったサークルだったんですが、学生の時でないかと、まとまって出来ない事をしたかったんです。今では学生のボランティアサークルも多いですが、当時はまだ珍しかったんですよ。一緒に畑を耕したり、演劇やミュージカルをしたり、絵を描いたり、いろいろな企画を計画して実行しました。彼らは見ていないようで、こっちの動きや感情をよく観察しているんです。ですから接する時は、すごい緊張感がありましたし、いい加減な事をしてはいけないと思わせてくれましたなね。

大学卒業後はどうされたんですか？

美術の教員という選択肢もありませんでしたが、当時田舎には博物館はあっても美術館がなかったもので、学芸員がとも少なかったんです。ですから先駆けという意味でもそこを目指してみようかと思いました。卒業後は、地元の勝央町へ帰り、旧勝央町郷土美術館5年務めました。この時代、地元の作家との交流がかなりあり、知人や友人などの仲間が増えた時期でした。奈義町現代美術館ができる話があり勤務することが決まったので、広島市現代美術館に勉強に行きました。短い期間でしたが多くの方と知り合う事ができ、今に活かせています。

デベロッパーとしても高い能力があり、教育の為に町を作ってしまうような人でした。膨大な著書の中には、国内初の児童百科事典等の出版事業、生涯学習社会の到来を予見した通信教育事業、自由研究、学校劇、ラジ体操導のものになったデンマーク体操の導入やスキーの普及など、教育に関わる分野全般における先駆けでした。彼は物事を多面的に見る事の大切さを教えてくれました。人に対しても言えますが、ひとつの人格だけ

を見るのではなく、その人の社会的立場や心理状態などを含め全体を見る事で、見えない部分が見えてくるのだと。自分の生き方とかか生親にもかなり影響をあたえてくれたと思います。彼の考え方は美術館の経営にも活用できるんですよ。

大学時代は何がサークル活動していましたか？

障がい者のボランティアサークルに入っていました。さまざま



東北の芸術へのジャンプ。

近いビジョンで言いますと、来年は「瀬戸内国際芸術祭」開催の年になります。残念ながら前回はほとんど県北までの人の流れが感じられませんでした。来年は県主催の事業として「美作三湯芸術温泉（3月20日～6月30日）」というアートプロジェクトを計画しています。これは16名のアーティストが温泉宿とコラボして作品を展示していくもので、私はその企画のキュレーターとして関わっています。タイトルには温泉のお湯の温かさや宿で受けるあたたかいおもてなしなど、実際に体感することのでられるホクホク感を「温度」という言葉に託しました。三湯を一体的な舞台にしたイベントは岡山初の試みとして画期的なものですし、スケール的には負けないと思っています。

新たな観光ルートの開拓により、奈義をはじめ全体が盛り上がってほしいと願っています。作家たちの見方や感じ方が観た人に静かに影響し、感性に深まりと広がりが見られることを期待しています。